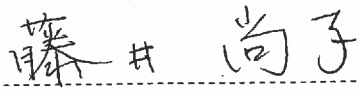


会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT部会	
開催日時	令和4年7月14日(木) 開会; 18時30分・閉会: 19時30分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、小沼 豊蔵、石島弘美、淵上通子、村上万里子、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、松原克彦、千島万里江、江袋文紀、大山恵巳、吉岡隆秀	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	1. 本研修の目的 2. 研修の方向性 3. ACP普及促進事業への参加協力について 4. MCSについて	
会議資料	(資料名・概要等) ICT/患者情報共有部会資料	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
4年8月16日	 ----- 上村 勇樹	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 18 : 30</p> <p>1. 本研修の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種が情報共有を通して連携することにより患者さんの本位のケアの実現を目指す。 ・研修により期待できる効果 <ul style="list-style-type: none"> ケアマネに医療職に対する苦手意識をなくしていただく。 各職種がお互いの考え方を知る。 <p>2. 研修の方向性</p> <p>①テーマ</p> <p>見取りより前の段階というイメージで、「最後まで自宅で安心して暮らして頂く。」をテーマとする。</p> <p>②参加対象</p> <p>医療・介護の専門職。</p> <p>専門職に知ってもらうことがこの部会の柱である。</p> <p>③内容</p> <p>参加型</p> <p>カンファレンスのロールプレイを取り入れる。</p> <p>職種毎にファイルを知る時間を設ける。</p> <p>1回の研修では、やりきれないためシリーズ化する。</p> <p>1回目：「人生ファイルって何？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 職種ごとに分けて、自分の職ができることを考える。 ファイルを知る時間を作る。 <p>2回目：実践編。多職種の記入をみる。</p> <p>④用意するもの</p> <p>人生ファイル</p>

課題：専門職が書く負担について

どのくらいの負担なのか一度やっているとよい。

：個人情報について

利用者の同意に基づくものなので、問題はない

3. ACP 普及促進事業への参加協力について

「令和4年度 ACP 普及促進事業」日程配布。

患者情報共有・ICT 部会の個々のメンバーが参加できる日程を検討する。

4. MCS について

MCS 上に患者情報共有・ICT 部会のグループを作成し、コミュニケーションを図ることとする。

【閉会】 19 : 30